

湯沢砂防だより

湯沢砂防事務所 設置第1号の砂防堰堤を見てきました

昭和10年9月に魚沼地方を襲った未曾有の暴風雨による災害を契機に、昭和12年5月1日に湯沢砂防事務所の前身である内務省新潟土木出張所魚野川砂防工場が開設され、国による直轄工事がスタートしました。

昭和12年6月1日に、辻又川及び田河川の砂防堰堤の工事に着手し、昭和12年9月14日に、設置第1号の砂防堰堤となる「辻又川砂防堰堤」が完成しました。

辻又川砂防堰堤が作られてから80年経過しています。現在の状況を確認するため現地調査を行いましたので、その結果を報告します。



現在の様子 (平成29年5月29日撮影)



左岸の状況



右岸の状況

完成時 (昭和12年) の様子



湯沢砂防工場完成1号 辻又川砂防ダム (昭和12年9月14日完成)
ダム規模H: 3.0m L: 13.0m V: 63m³ 副ダム水叩 総立浸142m³

辻又川砂防堰堤は水通し部の玉石が一部欠損していましたが、現在も砂防堰堤としての効果を発揮していました。(辻又川砂防堰堤は昭和13年に新潟県へ移管しましたので、現在、新潟県が管理をしています。)